

「都市空間政策概論第3（都市情報の分析Ⅰ）」シラバス

□ 講義の目的

都市についてデータを用いて分析し、計画へと役立てるための基礎知識と理論を身につける。

時間帯：冬学期前半 1 / 4、木曜日 6・7 限（18:40-21:35）

9/29 都市情報の取得 都市の統計資料・調査方法

10/ 6 分析手法の基礎 分析手法：基礎編

10/13 分析手法の応用 分析手法：応用編

11/20 都市政策評価 都市政策の評価

□ 理解すべき事項

都市情報分析に必要となる、データの取得、調査の方法、分析の方法の基礎知識を身につける。

定量的な分析を用いて、都市計画に関する適切な判断を行う手法を身につける。

□ 成績評価

レポートおよび授業への参加度によって評価する。

都市情報の分析Ⅰ

専攻・コース _____

学生証番号 _____

氏 名 _____

参考文献

- 浅見泰司(2015)『都市工学の数理：基礎編』日本評論社
- 浅見泰司・高曉路(2002)「都市計画と不動産市場：住宅価格を左右する住環境」西村清彦(編)『不動産市場の経済分析』日本経済新聞社, pp. 129-150
- 有馬哲・石村貞夫(1987)『多変量解析のはなし』東京図書
- 宇都正哲・植村哲士・北詰恵一・浅見泰司(2013)『人口減少下のインフラ整備』東京大学出版会
- 大野栄治(2001)「住環境の経済評価」浅見泰司(編)『住環境：評価方法と理論』東京大学出版会, pp. 143-167
- 岡本安晴(2006)『計量心理学：心の科学的表現をめざして』培風館
- 東京大学教養学部統計学教室(編)(1991)『統計学入門』東京大学出版会
- 東京大学教養学部統計学教室(編)(1992)『自然科学の統計学』東京大学出版会
- 東京大学教養学部統計学教室(編)(1994)『人文・社会科学の統計学』東京大学出版会
- 森岡清志(編著)(2007)『ガイドブック社会調査 第2版』日本評論社
- 盛山和夫(2004)『社会調査法入門』有斐閣